

外観



神殿を思わせる壮大な門柱を持つ正面昇降口は、全面ガラス張り。2Fまで吹き抜けの明るい大空間となっている。ソーラーパネルと風力発電機が2機設置され、蓄電された電気は夜間のライトに使用されている。

内観



腰壁は全て県産の杉材を使用。床は栗材を使用し、学校の伝統である「無言膝つき清掃(水拭き清掃)」を実施している。中庭には、地域防災機能の強化として炊き出し用に「かまどベンチ」を設置している。

3F トイレ入口



教室があるフロアのトイレ。入口横には、友達同士のおしゃべりの場として活用できる、ベンチを設置している。

3F 女子トイレ



曲線状に設置された、ピンク色の洗面カウンターが、可愛い雰囲気演出。男女トイレとも、車いす使用者やケガをして松葉杖を使用する生徒たちに配慮して、ひろびろブースを1ヶ所設置している。

1F 職員トイレ 入口



トイレの入口にドアを設けていないため、廊下からトイレの中が見えないレイアウトにしている。男女サインのほか、床を色分けすることにより、男女トイレの区別がひと目でわかるようになっている。

1F 職員トイレ



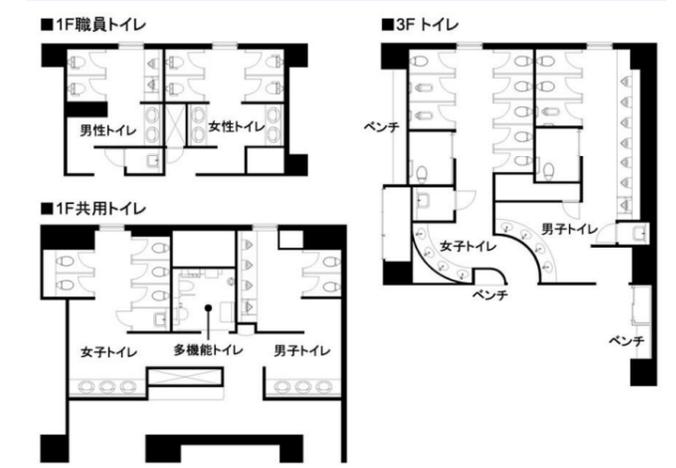
環境に配慮し、人感センサー式の照明を採用。職員用のトイレにはウォシュレットが設置されている。

3F 男子トイレ



女子トイレ同様、曲線状に設置された洗面カウンター。白いタイル張りの壁にスカイプルーのカウンターが、爽やかな雰囲気演出。小便器は、床の清掃性に優れた壁掛式を採用している。

トイレ図面



1F 多機能トイレ



昇降口正面にある多機能トイレには、デザイン性と機能性を兼ね備えた、REST ROOM ITEM 01の多機能トイレパックを採用。小さなお子様連れにも配慮して、ベビーシートとベビーチェアを完備している。

2F トイレ



屋内運動場近くのトイレ。洗面器の水栓金具は、ノンタッチで水の出しとめができる、自動水栓を設置。小便器は尿石の付着やにおいの発生を抑制する「ジアテクト」機能を搭載したタイプを採用している。

建築概要

名称	本庄市立本庄東中学校
所在地	埼玉県本庄市日の出4-2-45
施主	本庄市
設計	株式会社総合企画設計
監理	株式会社桂設計
施工	<建築>竹並建設株式会社 <電気>岡根電気工事株式会社 <機械>加納設備株式会社
竣工年月	2015年3月

水まわりの特長

<施設の概要>
1963年に創立された本庄市立本庄東中学校は、築50年以上が経過し、老朽化の対応が課題となっていた。そこで2010年に「東中建替検討委員会」を発足。委員会で決定した新校舎のコンセプトは「安全・安心」と「シンプルで機能的」。耐久性と耐震性に加え、バリアフリーや環境にも配慮した校舎が完成した。また、地域に開かれた学校を目指し、多目的室やメディアセンターなどを市民にも開放予定。災害時の地域防災拠点となるべく、防災倉庫やマンホールトイレ、かまど型ベンチなどを設置している。

<トイレの特長>
「使いやすく、生徒が集まれるような遊び心あるデザインを」という学校側の意向を反映し、洗面カウンターは、アクセントカラーと曲線を生かした形状とし、トイレ入口横には、友達同士でおしゃべりもできるベンチを設置している。また環境に配慮し、人感センサー式の照明や水の止め忘れがない自動水栓、節水便器などを採用。そのほか、さまざまな使用者を想定して、ベビーシートとベビーチェアを備えた多機能トイレを2ヶ所設置している。新しくなったトイレは生徒たちの評価も高く、「広い・明るい・きれい・臭くない」という喜びの声が多く上がっている。